

よくあるご質問(選考会・研修について)

Q: 選考会の内容はどのようなものですか？

A: 選考会当日は、①日本語 ②一般英語 ③専門英語 の3種の面接を行います。

受験人数により異なりますが、全ての面接終了は16:00頃を予定しております。面接終了後は選考委員の先生方からご講評を頂く時間をとっております。これが当財団開催の選考会に参加するメリットでもあります。

Q: 選考会の倍率・合格者数はどれくらいですか？

A: 倍率や合格者数は年によって異なり、原則として公表しておりませんが、平均的に、約30名が受験した場合には2~4名が即日合格となり、その後厳正な審査により、最終的には8名程度が合格となります。

Q: 研修先は研修生が選択できるのですか？

A: 選択できますが、必ずしも希望に添えるとは限りません。

ハワイ大学では内科・外科・小児科などの研修を行うことができます。ハワイ大学で行なわれる研修はプログラム化されており、研修内容が確定しています。(講義とラウンドを組み合わせた内容)

トーマスジェファーソン大学ではハワイ大学で研修できる科以外に、救急科・小児科・腫瘍科(内科)などの研修を行うことができます。

トーマスジェファーソン大学で行なわれる研修はプログラム化されていないため、研修内容は確定していません。(ご希望をご連絡頂いてから大学側と交渉し、確定となります)

※内科・外科の場合は、基本的にハワイ大学での研修となります。

Q: 2ヶ所の病院で2ヶ月ずつ研修することはできますか？

A: 原則としてできません。1回の合格につき研修できる病院は1ヶ所です。2ヶ所の病院での研修を希望する方については、別途委員会を開催し、できる限りご希望に添うよう検討いたします。

Q: 研修で実際に患者の診療に関わることはできますか？

A: 研修内容はどの研修先においても基本的に見学となります。

アメリカで医師として実際の臨床に関わるためには、州の研修用ライセンス(ビザ)と、高額な医療過誤保険(月数千ドル)、そして病院からの許可が必要です。これには、気が遠くなる程大量の書類の作成を作成しなければなりません。当然多くの時間をそのために費やすこととなります。

従って、日本人の医師は、たとえ ECFMG certificate を持っていたとしても、実際にアメリカの病院で、患者の診療を行うことは、非常に難しいと考えた方がよく、現実的ではありません。

エクスターン研修のメリットは、数多くの友人・知人をつくり情報を仕入れるとともに、推薦状を書いていただける指導医をみつけるためのきっかけを得られるところにあると思います。

エクスターン研修でどの範囲までできるか(関われるか)はいかに自分の熱意を伝えられるかにかかってきます。